

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大鹿村景観緩和事業 (採石場周辺緑化)
事業主体 (連絡先)	大鹿村落合自治会 長尾 勝 0265-39-2383
事業区分	
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,240,912円 (うち支援金: 1,240,000円)

事業内容

落合地区では30年余にわたり採石事業が行われており、建設骨材として利用されてきた。大鹿村は日本で最も美しい村づくりを推進しており、当地区は村の玄関口であるため、採石で剥き出しになった岩肌や砕石工場により、自然景観が美しい本村のイメージを壊さない対策として、自治会と採石業者、役場職員が協働して緑化事業を行い景観緩和を行った。

大河原方面：常緑樹鉢植え48鉢設置  
鹿塩方面：花壇造成 花桃15本植栽



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

大鹿村の玄関口である本地域を地元住民と採石業者、役場職員の協働作業により環境整備を行うことにより、美しい村づくり活動として継続できる基盤整備ができた。

大河原方面は採石場への落葉を避けるため常緑樹を鉢植えとすることにより、鉢植えによる緑化モデル地区となった。また、県産材による木製箱を村授産所で製作することにより、村内での木製品加工づくりに寄与することができた。

【目標・ねらい】

- 住民と事業者による協同作業により、採石場周辺の景観緩和意識を高める。
- 日本で最も美しい村の玄関口として環境美化を図る。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

地元住民と採石事業者が中心となり、自然景観が美しい村の玄関口として自然景観の緩和のための緑化活動を継続していく。

今回設置した花壇の手入れのみならず、採石場全体の緑化や景観、環境緩和対策にも協力する態勢づくりを行う。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

大河原方面  
(採石場前)  
緑化状況

常緑樹植栽  
シラカシ  
キンモクセイ



大河原方面  
緑化作業状況



鹿塩方面  
(吉野屋前)  
緑化状況  
花桃植栽



鹿塩方面  
緑化作業状況

